

# LEXUS TEAM ZENT CERUMO

2019 AUTOBACS SUPER GT Report

SUPER GT X DTM Dream Race

SUPER GT×DTM 特別交流戦

ZENT CERUMO LC500

#38 立川祐路／石浦宏明

◆11月23日（土） RACE1

公式予選総合結果 15位

決勝結果 9位

2019年のSUPER GTは11月の第8戦もてぎで幕を閉じたが、今季はLEXUS TEAM ZENT CERUMO はもうひとレース戦いに挑む。長年、車両規定統一に向け交渉を進めてきたSUPER GT GT500クラスと、ヨーロッパで転戦するDTMドイツ・ツーリングカー選手権のマシンが競い合う



『AUTOBACS 45th Anniversary presents SUPER GT X DTM 特別交流戦』だ。日本からはGT500クラスに参戦する15台全車が、そしてDTMからは7台が参加し、5車種22台で争う“ドリームレース”だ。

すでに10月にはレクサスLC500が1台ドイツでレースを戦っており、その情報がLEXUS TEAM ZENT CERUMOにも伝えられているが、ふだんのSUPER GTとの大きな違いがタイヤだ。ふだんZENT CERUMO LC500が履いているブリヂストンではなく、DTMのワンメイクタイヤであるハンコックを装着しなければならず、そのため大きなセッティング変更が要求される。そのタイヤを習熟するため、このレースはふだんより2日長い、11月21日（木）から走行枠が用意された。

ZENT

LEXUS

TRD

BRIDGESTONE

PMU  
RACING PADS

WAKOS

asics



Jms

T-SELECT

TAMACHI

CABANA

トヨタ東大

EBS

SHOWA  
BRAKE FLUID

AVD  
MECHANICAL WEAR

# LEXUS TEAM ZENT CERUMO

長いレースウィークに臨んだ LEXUS TEAM ZENT CERUMO は、まずは 11 月 21 日 (木) 午前 9 時 15 分からのタイヤテスト 1 に挑んだ。さらに、午前 11 時から 7 台の DTM 車両も加わってのテストセッション 1 が、さらに午後にはテストセッション 2 とタイヤテスト 2 が行われた。



美しい富士山が顔を出す快晴のなかで行われた 4 回のテストを使い、立川祐路と石浦宏明のふたりはハンコックタイヤを装着した ZENT CERUMO LC500 をドライブした。ただ、タイヤテスト 1 は 8 番手、テストセッション 1 は 9 番手。午後もテストセッション 2 は 13 番手、さらに GT500 車両のみのタイヤテスト 2 では、最下位の 15 番手と思うようにセットアップを進めることができなかった。ドライバーたちの評価も良くない。

さらに、明けた 11 月 22 日 (金) は 4 セッションが用意されていたが、この日の富士スピードウェイは雨となってしまった。土日にも雨が降る予報があったためレインタイヤを履くいい機会となったが、ハンコックのレインタイヤは、SUPER GT 用と比べても非常にスリッピー。さらに ZENT CERUMO LC500 は、コース上の水量が多いためか、ブレーキに熱が入らない状況になってしまった。立川、石浦という両ドライバーをもってしても、スピンやコースアウトに見舞われてしまうほど。苦しい 2 日間となっていた。

迎えた 11 月 23 日 (土) は、ふだんであれば予選日にあたるが、今回のレースは SUPER GT の参戦チームは土曜にひとり、日曜にもうひとりがそれぞれ午前の予選と午後の決勝を戦うスタイルが採られる。LEXUS TEAM ZENT CERUMO から土曜のレース 1 に参戦するのは立川だ。

この日の富士スピードウェイは、前日の強い雨ほどではないものの、小雨が舞うコンディション。路面も完全には乾かず、午前 9 時 25 分からの予選ではウエットタイヤを履きコースインし、20 分間の予選のなかで 1 分 43 秒 412 とい

ZENT

LEXUS

TRD

BRIDGESTONE

PMU  
RACING PADS

WAKOS

asics



JMS

T-SELECT

TAMACHI

CABANA

トヨタ東武

EBS

SHOWA  
BRAKE FLUID

MECHANIC WEAR

# LEXUS TEAM ZENT CERUMO

うタイムをマーク。ただ、2セット目のニュータイヤもなかなかタイムが出ないなか、上位陣が1分42秒台に入っており、15番手という順位となった。

ウェットということもありなかなか思うような順位につけることはできなかった ZENT CERUMO LC500 だが、決勝レースは55分+1周のスプリント。立川は気持ちを切り替えレースに挑んだ。決勝直前にはふたたび小雨も舞ったが、そこまで路面を濡らすほどではない。LEXUS TEAM ZENT CERUMO はスリックタイヤを装着して立川を送り出した。

迎えたスタートは、DTM で採用されている“インディスタイル”と呼ばれる接近した状態からのものだが、立川は接触することなくまずは14番手にポジションを上げる。ただその後、#39 LC500 や#21 RS 5 DTM にかわされふたつポジションを下げた。



しかし5周目に#21 RS 5 DTM を抜き返すと、ここから立川の快進撃がはじまる。7周目には#24 GT-R を抜くと、8周目には2台を、さらに13周目までの間になんと8台抜き。ワンメイクタイヤは非常に難しいタイヤだが、立川はこれをうまく使いこなすとともに、この日の朝に取り組んだセットアップが奏功し、ZENT CERUMO LC500 は本来の戦えるポテンシャルを取り戻していたのだ。バトルのなかで、審査委員会から順位を戻す指示も飛んだが、それも大きな影響はなかった。

14周目、立川は#23 GT-R と二度のDTMチャンピオンであるレネ・ラスト選手が乗る#33 RS 5 DTM のバトルに加わると、ダンロップコーナーで激しいブレーキングをみせこれをオーバーテイク。GT500、DTM のチャンピオンたちのバトルでサーキットを沸かせる。さらに立川は他車のピットインもあり3番手まで順位を上げると、18周を終えピットイン。LEXUS TEAM ZENT CERUMO も立川の走りに応え、非常に素早いピット作業を行った。



# LEXUS TEAM ZENT CERUMO

各車がピット作業を終えると、ZENT CERUMO LC500 の順位は 6 番手。終盤に向け各車の間隔も開いており、チェッカーに向けて走行を続けていた立川だったが、レースも残り 8 分というところで#12 GT-R のストップにより、セーフティカーが導入される。

これは残り 3 周で退去し、ふたたびインディスタイルでリスタートとなるが、ここでなぜか ZENT CERUMO LC500 のフロントのグリップが急激に失われてしまう。立川は集団のなかで奮闘をみせるものの、10 番手にドロップしてしまう。それでも、なんとかファイナルラップに#16 NSX-GT をかわしシングルとなる 9 位でフィニッシュ。レース 1 を終えることになった。

慣れないタイヤで苦戦を強いられたが、このレースでチームは戦える手ごたえを得た。11 月 24 日（日）に予選・決勝を戦う石浦宏明に、好材料を残すことができた。

## ドライバー／立川祐路

「木曜から走りをはじめましたが、この決勝レースでやっとしっかりと走れる感触になりましたね。タイヤテストやプラクティスではなかなか良い方向にいきませんでしたし、金曜はウェットのなかで、とにかくブレーキがうまく動かず、今日やっとセットアップできた印象です。ただ、昨日から今日にかけてエンジニアがしっかりデータを見直してくれて、クルマをきちんと合わせてくれたので、レースではそのなかでいい戦いができたのではないかと思います。15 番手と後方からの戦いで順位を上げていけましたが、セーフティカー明けに極端にグリップを失ってしまい、最後はコースアウトもしましたが、ファイナルラップに 1 台抜けて 9 位になりました。今週の流れを考えると、思ったよりもいい結果を残せたと思います。明日に向けていい流れを残せたのではないのでしょうか」



## 立川祐路総監督

「木曜からなかなか難しい状況で、しっかりと走ることができませんでした。今日はようやくいい状況で走ることができました。今日得られたいいデー



# LEXUS TEAM ZENT CERUMO

タをしっかり明日に活かして、石浦選手の活躍に繋げなければいけませんね。それに今日はタイヤ交換も非常に速く、決めてくれたのが嬉しかったです。明日もいいレースができると思いますし、今日よりもいい成績が残せるようチーム一丸となってがんばっていきたいと思っています」

## 村田淳一監督

「木曜から非常に流れが悪く、ライバルに対して出遅れている状況で、金曜には雨になって、さらにブレーキが温まらないトラブルに見舞われたりと、苦しい状況でした。しかし土曜になってからは微調整をしながら走り、不安定な天候となった予選、そして決勝と繋げていきました。レースでは、序盤から立川選手のペースも良く、トップ集団とまではいかなかったものの、中団では良い戦いことができました。セーフティカー明けに温度管理の影響が少しタイヤに影響が出て抜かれてしまいましたが、それをしっかりと明日への課題として、天候をしっかり読みつつ繋げていき、石浦選手がもっと前でレースできるようにしたいと思います。タイヤ交換では我々にミスがなかったので、メカニックたちはいい仕事をしてくれましたね」



ZENT

LEXUS

TRD

BRIDGESTONE

PMU  
RACING PADS

WAKOS

asics



JMS

T-SELECT

TAMACHI

CABANA  
RACING

トヨタ東大

BBS

SHOWA  
BRAKE FLUID

MVD  
MECHANICAL WEAR

# LEXUS TEAM ZENT CERUMO

## Race1 公式予選結果

Pos	No	Class	name	Car	Best Time
1	37	SGT	ニック・キャンディ	KeePer TOM'S LC500	1'41.827
2	28	DTM	ロイク・デュバル	BMC Airfilter Audi RS 5 DTM	1'42.158
3	1	SGT	山本 尚貴	RAYBRIG NSX-GT	1'42.215
4	23	SGT	ロニー・クインタレッリ	MOTUL AUTECH GT-R	1'42.358
5	99	DTM	マイク・ロッケンフェラー	Akrapovic Audi RS 5 DTM	1'42.527
6	17	SGT	塚越 広大	KEIHIN NSX-GT	1'42.609
7	24	SGT	ヤン・マーテンボロー	REALIZE CORPORATION ADVAN GT-R	1'42.724
8	3	SGT	F・マコヴィツキ	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	1'42.785
9	19	SGT	坪井 翔	WedsSport ADVAN LC500	1'42.810
10	36	SGT	関口 雄飛	au TOM'S LC500	1'42.887
11	6	SGT	山下 健太	WAKO'S 4CR LC500	1'42.927
12	12	SGT	佐々木 大樹	カルソニック IMPUL GT-R	1'43.064
13	8	SGT	伊沢 拓也	ARTA NSX-GT	1'43.121
14	33	DTM	レネ・ラスト	Audi Sport RS 5 DTM	1'43.387
<b>15</b>	<b>38</b>	<b>SGT</b>	<b>立川 祐路</b>	<b>ZENT CERUMO LC500</b>	<b>1'43.412</b>
16	21	DTM	ブノワ・トレルイエ	Audi Sport RS 5 DTM	1'43.447
17	39	SGT	中山 雄一	DENSO KOBELCO SARD LC500	1'43.583
18	00	DTM	小林 可夢偉	BMW M4 DTM	1'43.667
19	11	DTM	マルコ・ウィットマン	BMW M4 DTM	1'43.707
20	64	SGT	牧野 任祐	Modulo Epson NSX-GT	1'43.936
21	16	SGT	武藤 英紀	MOTUL MUGEN NSX-GT	1'44.637
22	4	DTM	A・ザナルディ	BMW M4 DTM	1'45.211



# LEXUS TEAM ZENT CERUMO

## Race1 決勝結果

Pos	No	Class	name	Car	Lap	Best Time
1	37	SGT	ニック・キャンディ	KeePer TOM'S LC500	35	1'31.346
2	17	SGT	塚越 広大	KEIHIN NSX-GT	35	1'31.610
3	1	SGT	山本 尚貴	RAYBRIG NSX-GT	35	1'31.636
4	6	SGT	山下 健太	WAKO'S 4CR LC500	35	1'32.259
5	19	SGT	坪井 翔	WedsSport ADVAN LC500	35	1'31.226
6	21	DTM	ブノワ・トレルイエ	Audi Sport RS 5 DTM	35	1'32.781
7	36	SGT	関口 雄飛	au TOM'S LC500	35	1'32.740
8	33	DTM	レネ・ラスト	Audi Sport RS 5 DTM	35	1'33.408
<b>9</b>	<b>38</b>	<b>SGT</b>	<b>立川 祐路</b>	<b>ZENT CERUMO LC500</b>	<b>35</b>	<b>1'32.412</b>
10	16	SGT	武藤 英紀	MOTUL MUGEN NSX-GT	35	1'32.321
11	3	SGT	F・マコヴィツキ	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	35	1'33.710
12	23	SGT	ロニー・クインタレッリ	MOTUL AUTECH GT-R	35	1'33.475
13	99	DTM	マイク・ロッケンフェラー	Akrapovic Audi RS 5 DTM	35	1'33.381
14	00	DTM	小林 可夢偉	BMW M4 DTM	35	1'33.300
15	8	SGT	伊沢 拓也	ARTA NSX-GT	35	1'31.954
16	39	SGT	中山 雄一	DENSO KOBELCO SARD LC500	35	1'31.794
17	24	SGT	ヤン・マーテンホロ	REALIZE CORPORATION ADVAN GT-R	35	1'32.437
18	11	DTM	マルコ・ウィットマン	BMW M4 DTM	34	1'31.549
19	12	SGT	佐々木 大樹	カルソニック IMPUL GT-R	28	1'33.664
64	SGT	牧野 任祐	Modulo Epson NSX-GT	25	1'31.186	
4	DTM	A・ザナルディ	BMW M4 DTM	17	1'34.607	
28	DTM	ロイック・デュバル	BMC Airfilter Audi RS 5 DTM		DNF	

ZENT

